



東京・生活者ネットワーク都議会議員

西崎光子

にしぎみつこ
レポート

猪瀬知事について辞任 どうなる都政!?

猪瀬知事が任期途中で都政を放り出
なりませんか。

5000万円問題で 辞任は当然

7億円を超える補助金を受けて老人保
健施設をつくり、今も多摩地域に病院を
建設中である徳洲会から借金をすること
は、政治家としてあまりに非常識です。「な
ぜ、徳洲会から5000万円ものお金を
無利子・無担保で借りることが出来たの
か」「生活資金がなぜ5000万円も必
要なのか」誰もが感じる疑問でした。

生活者ネットワークは一般質問で、知
事の政治姿勢を問い、いち早く辞任を求
めましたが、知事は「粉骨砕身都政に尽
くすことで都民への責任を果たす」とい
ばかりでした。

都議会総務委員会の集中審議では、各
委員に問い質されるたびに、知事の説明
は二転三転し、疑惑解明にはほど遠い状
況でした。法的拘束力を持つ百条委員会
での追及もやむを得ないと議会側が判断
するに至っては、もはや潔く自ら辞職する
ことが最善にして唯一の選択肢であること
は誰の目にも明らかでした。



都の財務局長に予算要望を渡す生活者ネットワークの都議。
左から、西崎光子、山内れい子、小松久子

2012年から 3回目の都知事選

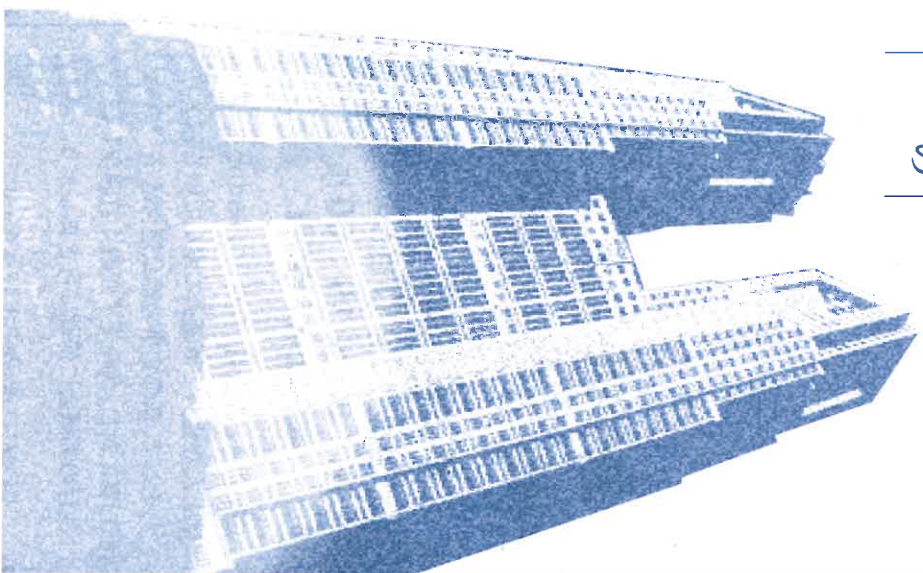
この間、約1か月、都政は停滞し、大
詰めを迎えていた来年度予算編成も、宙
に浮いた状態となりました。同時に、国
に対しては、都の発言力は著しく低下し、政
府や政権与党の都政への関与を強化させ
てしまったことは大変残念です。

オリンピック開催都市としての責任や、
法人税制改正など都としての重要課題が
山積する今、一日も早い都政の正常化に
向けて、全力で取り組んでいかなくては
なりません。

石原前知事が任期中で都政を放り出
し、後継指名されて大量得票で当選した
猪瀬知事が、在任わずか1年で「政治と
カネ」の問題で辞職に追い込まれ、3年足ら
ずの間に3度の都知事選挙を迎えること
は、都民にとって大変不幸なことです。「古
い政治」の殻を破る清新な知事の誕生に生
活者ネットワークも尽力してまいります。

予算要望を財務局長に

なお、12月19日、都議会生活者ネット
ワークは、2014年度の予算に向けた要
望書を提出しましたが、知事不在のため、
受け取ったのは財務局長でした。東京はそ
う遠くないうちに人口減少社会に転じ、高
齢者が急速に増えることが確実で、労働
力としても女性や高齢者への期待が高まり
ます。今までの働き方を見直し、ワークシ
ェアリングの考え方を広めて、ワークライ
フバランスを推進し、子ども・若者から高齢
者まで誰もがゆとりある生活ができるよ
う、市民目線からまとめた予算提案の実
現に向けて、しっかりと活動をすすめます。



「生活者通信」は都議会生活者ネットワークを始めとする各地域ネット・市民団体の活動紹介、また有識者の
投稿などからなる、生活と政治をつなぐ東京・生活者ネットワーク発行の月刊情報紙です。
●年間購読料 10000円(月1回刊) 毎月1日発行) 購読申し込みは世田谷ネット事務所へ
郵便口座へ直接お振込みの場合は 東京・生活者ネットワーク 00130-3-18417まで

生活者通信
購読のお誘い



活動記

11月

- 1 決算委員会
- 2 都庁ヒアリング
- 3 大学生とのヒアリング
- 4 世田谷・生活者ネットワーク30周年の集い
- 5 保坂展人区長の会
- 6 決算委員会
- 7 財務委員会
- 8 セミナー「新公会計制度」
- 9 決算委員会
- 10 決算委員会
- 11 議会運営委員会
- 12 福島原発事故の報告
- 13 財政委員会
- 14 都議会本会議



第4回定例会最終日に、猪瀬都知事に辞任をせまると議論をする

12月

- 1 決算委員会
- 2 議会運営委員会
- 3 都庁ヒアリング
- 4 5~6 都議会本会議
- 5 総務委員会傍聴
- 6 10~11 財務委員会
- 7 議会運営委員会
- 8 都議会本会議
- 9 予算要望のまとめ
- 10 財政委員会規程
- 11 総務委員会傍聴
- 12 議会運営委員会
- 13 予算要望提出
- 14 議事運営委員会
- 15 都議会本会議



1月7日、経堂駅頭にて、区議員らとともに活動報告をする

1月

- 1 世田谷消防団始め式
- 2 昭和女子大で講義
- 3 市民セクター対談
- 4 玉川消防団始め式
- 5 新成人式
- 6 成城消防団始め式
- 7 東京都予算大綱説明
- 8 東京・生活者ネットワーク学習会
- 9 「本当は憲法より大事な日米地位協定」



1月9日、昭和女子大学で「生活の中にごそ政治がある」と題して講義

Information

新知事に質す

西崎光子一般質問

都議会傍聴ツアー

日時：**3月6日(木)**
16:00~19:00頃
場所：**都議会議事棟**

都議会でどんな質問をしているのか？

都議はどんな姿勢で都議会に臨んでいるのか？

そして、新都知事の都政運営は？

新都知事に対し、西崎光子が鋭く質問をします。

注目の都議会に傍聴に行きましょう。

2月26日(水)から3月28(金)まで
都議会第1回定例会が開かれます。

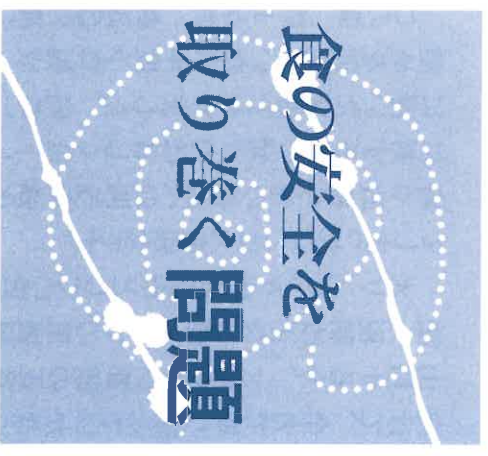


いよいよ2020年東京五輪に向けた施設建設が動き出します。計画で、22の競技施設を建設する予定で、その半分が恒久施設で、残り半分は仮設または取り壊し可能なとしています。中でもメインスタジアムとなる新国立競技場は国が整備するものですが、8万人規模の常設観客席の巨大な建築物について専門家からも異議が噴出して

ます。現にロンドンオリンピックのメインスタジアムも8万人だったのはオリンピック開催期間のみで、その後は仮設を取り壊して6万人規模とし、最終的にはサッカーチームの本拠地として2万5千人規模に変更できるようになっています。少子高齢化・人口減少・省エネなど課題が山積する東京で、常設

観客席8万人の巨大施設が本当に必要でしょうか。

神宮外苑地区は都内の風致地区第1号であり、都立明治公園や都営霞ヶ丘アパートなども含まれ、都に全く関係ない事業ではないにもかかわらず、東京都市計画審議会がこの地域の地区計画を大幅に変更し、都市計画決定したことは遺憾です。国家プロジェクトからといって、景観を壊すような施設整備を進めてよいわけではありません。都は、国の整備事業だからと手をこまねいているのではなく、専門家や市民の声を真摯に受け止め、8万人常設の巨大な施設建設を再考するよう国や事業主である日本スポーツ振興センター(JSC)に要望すべきと主張しました。これから様々な施設の具体案が次々に明らかになってきます。自然と共生し、のちの世代に大きな負担を残すことのないよう、計画の見直しも含めてしっかりと提案していきたいと思えます。



食品大手マルハニチロホールディングスの子会社アクリン・ズ群馬工場で製造した冷凍食品から農薬マラチオンが検出され、製品の回収が行われていきます。かつて中国製の冷凍食品への農薬混入事件がありました。が、厳密な製造過程の管理が行われている日本では起こらないと思われていただけに、衝撃的な状況です。基準の260万倍もの高濃度で農薬成分が検出されたことは、故意に混入された可能性が大きいと考えられ、早急な原因究明が待たれます。昨春秋には、レストランやパートでメニューや食材の偽装表示も相次ぎ、食に対する信頼は大きく揺らぎました。

和食が世界無形文化遺産に登録され、これからますます日本の食への注目が高まろうとしている時、虚偽の表示による信頼の失墜はあってはなりません。多くのレストランや事業所がある東京都の食品安全行政は、体制を強化して、事業者の指導・監視に当たることを強く求めました。

食品表示法が公布されたものの、6月、食品表示法が公布されたもの、具体的な基準はまだできておらず、ガイドラインの早期策定と残された検討課題の解決を国に求めていく必要があり、食品表示は消費者が商品を選びます。食品表示は重要な情報です。特にアレルギーメニューにおけるアレルギー表示は先行して進めるべきです。

消費者のブランド志向も偽装表示を招く一因にあると思いますが、やはり近年企業のモラルハザードは、経済状況や価格破壊に伴うとは言え、目に余るものがあります。外食の表示を取り締まる食品表示法では、実際以上に高級であると思わせる表示を禁止してしま